



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社 ソノコム

上場取引所 東

コード番号 7902 URL <https://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 清啓

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務部長 (氏名) 宮寺 利宗

TEL 03-3716-4101

定時株主総会開催予定日 2022年6月28日

配当支払開始予定日

2022年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	2,287	15.5	301	99.7	355	99.1	290	160.6
2021年3月期	1,980	△3.0	150	△24.7	178	△21.1	111	△25.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	79.17	—	3.5	3.9	13.2
2021年3月期	30.38	—	1.4	2.0	7.6

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 一百万円 2021年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	9,447	8,419	89.1	2,297.23
2021年3月期	8,974	8,108	90.4	2,212.52

(参考) 自己資本 2022年3月期 8,419百万円 2021年3月期 8,108百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	415	△25	△36	4,397
2021年3月期	348	△412	△36	4,017

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	36	32.9	0.5
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	43	15.2	0.5
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		33.3	

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	0.5	310	2.9	340	△4.3	120	△58.6	30.00

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.12「3.財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	5,000,000 株	2021年3月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	1,335,036 株	2021年3月期	1,335,036 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	366,964 株	2021年3月期	3,664,964 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、徐々に経済活動の回復の兆しが見られました。しかしながら、新たな変異株による感染再拡大の懸念に加え、半導体の供給不足や原材料価格の高騰など、サプライチェーンの停滞等が続く中、ロシア・ウクライナ情勢が経済に与える影響も加わり、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、半導体不足が懸念されるものの、5Gを主とした通信関連向けの部品やEV等の自動車関連向けの各種電子部品等の需要が増加いたしました。

このような状況のもと、当社におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、お客様とのリモート等による営業活動を積極的に行いつつ、対面による営業活動も徐々に再開しております。

以上の結果、売上高につきましては、製品売上高20億90百万円（前事業年度比15.3%増）、商品売上高1億97百万円（前事業年度比17.8%増）となり、売上高合計22億87百万円（前事業年度比15.5%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加の影響により、営業利益3億1百万円（前事業年度比99.7%増）、経常利益3億55百万円（前事業年度比99.1%増）、当期純利益2億90百万円（前事業年度比160.6%増）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は52億66百万円となり、前事業年度末に比べ1億51百万円増加いたしました。固定資産は41億81百万円となり、前事業年度末に比べ3億21百万円増加いたしました。

この結果、総資産は94億47百万円となり、前事業年度末に比べ4億72百万円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は5億89百万円となり、前事業年度末に比べ1億48百万円増加いたしました。固定負債は4億37百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は10億27百万円となり、前事業年度末に比べ1億62百万円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は84億19百万円となり、前事業年度末に比べ3億10百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は89.1%（前事業年度末は90.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて3億80万円増加し、43億97百万円となりました。

また当事業年度中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、4億15百万円（前事業年度3億48百万円）となりました。これは主に、税引前当期純利益3億27百万円に加え、減価償却費1億55百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動で使用した資金は、25百万円（前事業年度4億12百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入4億18百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出4億23百万円や有形固定資産の取得による支出1億3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動で使用した資金は、36百万円（前事業年度36百万円）となりました。これは、配当金の支払額36百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、日本経済は新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が懸念されるものの、ワクチン接種のさらなる進展や政府の経済支援策などにより、景気の回復が期待される一方、半導体の供給不足や原材料価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢等、引き続き不透明な状況が続くことが予想されます。

当社の主要顧客である電子部品・デバイス業界においても、半導体不足や原材料価格の高騰等により、スマートフォン向けの製品や自動車関連向けの製品の停滞が懸念されますが、生産活動は総じて順調に推移するものと見込んでおります。

当社の2023年3月期の業績につきましては、売上高23億円、営業利益3億10百万円、経常利益3億40百万円、当期純利益1億20百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,933,866	4,283,377
受取手形	20,873	41,196
電子記録債権	13,039	12,952
売掛金	619,421	674,091
有価証券	406,390	114,139
商品及び製品	2,933	3,523
仕掛品	40,549	45,294
原材料及び貯蔵品	63,459	80,515
前払費用	7,745	5,313
その他	6,378	5,622
流動資産合計	5,114,658	5,266,027
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,034,422	2,064,202
減価償却累計額	△1,499,853	△1,534,298
減損損失累計額	—	△11,004
建物(純額)	534,568	518,899
構築物	73,141	73,141
減価償却累計額	△69,610	△70,138
構築物(純額)	3,530	3,003
機械及び装置	1,810,797	1,748,497
減価償却累計額	△1,557,748	△1,515,149
機械及び装置(純額)	253,048	233,347
車両運搬具	26,982	29,408
減価償却累計額	△17,325	△21,736
車両運搬具(純額)	9,656	7,671
工具、器具及び備品	295,918	297,425
減価償却累計額	△268,145	△272,434
工具、器具及び備品(純額)	27,772	24,990
土地	1,092,435	1,092,435
有形固定資産合計	1,921,013	1,880,347
無形固定資産		
電話加入権	1,990	1,990
ソフトウェア	26,728	17,248
無形固定資産合計	28,718	19,239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,508,918	1,805,642
保険積立金	382,915	390,250
繰延税金資産	9,263	76,565
その他	8,967	8,965
投資その他の資産合計	1,910,065	2,281,423
固定資産合計	3,859,797	4,181,010
資産合計	8,974,455	9,447,037

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	143,793	172,452
買掛金	53,889	62,849
未払金	35,159	54,979
未払費用	73,159	74,987
未払法人税等	38,201	102,236
未払消費税等	30,256	34,552
預り金	1,487	1,437
資産除去債務	—	10,000
賞与引当金	47,990	51,429
役員賞与引当金	10,800	17,400
設備関係支払手形	6,874	7,526
流動負債合計	441,613	589,851
固定負債		
退職給付引当金	11,444	13,778
役員退職慰労引当金	412,610	424,160
固定負債合計	424,054	437,939
負債合計	865,667	1,027,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金		
資本準備金	1,405,550	1,405,550
資本剰余金合計	1,405,550	1,405,550
利益剰余金		
利益準備金	190,106	190,106
その他利益剰余金		
別途積立金	4,800,000	4,800,000
繰越利益剰余金	1,502,343	1,755,859
利益剰余金合計	6,492,449	6,745,965
自己株式	△825,151	△825,151
株主資本合計	7,998,598	8,252,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,189	167,132
評価・換算差額等合計	110,189	167,132
純資産合計	8,108,788	8,419,247
負債純資産合計	8,974,455	9,447,037

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高		
製品売上高	1,813,055	2,090,849
商品売上高	167,406	197,124
売上高合計	1,980,461	2,287,973
売上原価		
製品売上原価		
当期製品製造原価	1,217,660	1,330,141
他勘定振替高	4,539	7,152
製品売上原価	1,213,120	1,322,989
商品売上原価		
商品期首棚卸高	3,234	2,933
当期商品仕入高	138,249	159,360
合計	141,483	162,294
商品期末棚卸高	2,933	3,523
商品売上原価	138,549	158,770
売上原価合計	1,351,670	1,481,760
売上総利益	628,791	806,212
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,483	2,473
荷造及び発送費	31,045	33,926
役員報酬	60,000	60,000
給料及び手当	98,579	102,708
賞与及び手当	11,964	18,302
賞与引当金繰入額	11,407	10,072
退職給付費用	7,616	6,561
役員賞与引当金繰入額	10,800	17,400
役員退職慰労引当金繰入額	11,550	11,550
法定福利費	25,326	26,523
福利厚生費	6,314	7,078
旅費及び交通費	5,005	6,446
減価償却費	9,490	9,838
支払報酬	17,816	17,749
試験研究費	109,615	116,564
その他	58,915	57,708
販売費及び一般管理費合計	477,931	504,903
営業利益	150,860	301,309

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業外収益		
受取利息	47	47
有価証券利息	24,803	33,923
受取配当金	2,010	2,243
助成金収入	11,645	6,679
為替差益	—	26,019
雑収入	1,914	2,183
営業外収益合計	40,421	71,096
営業外費用		
投資有価証券償還損	11,344	11,570
投資有価証券売却損	—	5,271
為替差損	1,203	—
雑損失	293	313
営業外費用合計	12,842	17,156
経常利益	178,439	355,249
特別利益		
受取弁済金	475	1,227
特別利益合計	475	1,227
特別損失		
減損損失	—	29,004
特別損失合計	—	29,004
税引前当期純利益	178,915	327,471
法人税、住民税及び事業税	66,883	129,716
法人税等調整額	684	△92,409
法人税等合計	67,568	37,306
当期純利益	111,346	290,165

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		334,820	27.6	395,904	29.7
II 外注加工費		19,261	1.6	13,638	1.0
III 労務費		471,295	38.8	508,973	38.1
IV 経費		389,289	32.0	416,370	31.2
当期総製造費用		1,214,666	100.0	1,334,886	100.0
期首仕掛品たな卸高		43,542		40,549	
合計		1,258,209		1,375,435	
期末仕掛品たな卸高		40,549		45,294	
当期製品製造原価		1,217,660		1,330,141	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算を採用しております。

(脚注)

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
※1 労務費のうち主なものは次のとおりであります。 賃金 273,513千円 雑給 33,173千円 賞与手当 23,773千円 賞与引当金繰入額 33,640千円	※1 労務費のうち主なものは次のとおりであります。 賃金 297,605千円 雑給 32,135千円 賞与手当 36,725千円 賞与引当金繰入額 34,695千円
※2 経費のうち主なものは次のとおりであります。 減価償却費 146,371千円 消耗品費 85,221千円	※2 経費のうち主なものは次のとおりであります。 減価償却費 135,516千円 消耗品費 103,267千円
※3 収益性の低下に伴う簿価切下げにより、次のたな卸 資産評価損が、当期製品製造原価に含まれておりま す。 544千円	※3 収益性の低下に伴う簿価切下げにより、次のたな卸 資産評価損が、当期製品製造原価に含まれておりま す。 298千円

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	925,750	1,405,550	1,405,550	190,106	4,800,000	1,427,646	6,417,753
会計方針の変更による累積的影響額							
会計方針の変更を反映した当期首残高							
当期変動額							
剰余金の配当						△36,649	△36,649
当期純利益						111,346	111,346
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	74,696	74,696
当期末残高	925,750	1,405,550	1,405,550	190,106	4,800,000	1,502,343	6,492,449

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△825,151	7,923,901	△35,329	△35,329	7,888,572
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高					
当期変動額					
剰余金の配当		△36,649			△36,649
当期純利益		111,346			111,346
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			145,518	145,518	145,518
当期変動額合計	—	74,696	145,518	145,518	220,215
当期末残高	△825,151	7,998,598	110,189	110,189	8,108,788

当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	925,750	1,405,550	1,405,550	190,106	4,800,000	1,502,343	6,492,449
会計方針の変更による累積的影響額							
会計方針の変更を反映した当期首残高							
当期変動額							
剰余金の配当						△36,649	△36,649
当期純利益						290,165	290,165
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	253,515	253,515
当期末残高	925,750	1,405,550	1,405,550	190,106	4,800,000	1,755,859	6,745,965

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△825,151	7,998,598	110,189	110,189	8,108,788
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高					
当期変動額					
剰余金の配当		△36,649			△36,649
当期純利益		290,165			290,165
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			56,943	56,943	56,943
当期変動額合計	—	253,515	56,943	56,943	310,459
当期末残高	△825,151	8,252,114	167,132	167,132	8,419,247

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	178,915	327,471
減価償却費	161,580	155,770
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,505	3,439
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△900	6,600
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,550	11,550
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,066	2,334
受取利息及び受取配当金	△26,861	△36,215
受取弁済金	△475	△1,227
助成金収入	△11,645	△6,679
為替差損益 (△は益)	1,203	△26,019
投資有価証券償還損益 (△は益)	11,344	11,570
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	5,271
有形固定資産除却損	253	313
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,531	△74,906
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,865	△22,390
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,061	37,617
その他	22,122	34,514
小計	377,056	429,017
利息及び配当金の受取額	30,536	41,936
弁済金の受取額	475	1,227
助成金の受取額	11,645	6,679
法人税等の還付額	—	151
法人税等の支払額	△71,036	△63,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	348,677	415,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△244,885	△103,800
無形固定資産の取得による支出	△13,044	△291
投資有価証券の取得による支出	△530,996	△423,808
投資有価証券の償還による収入	383,925	418,220
投資有価証券の売却による収入	21,212	91,930
その他	△28,274	△7,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,063	△25,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△36,690	△36,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,690	△36,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,203	26,019
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,280	380,280
現金及び現金同等物の期首残高	4,118,517	4,017,237
現金及び現金同等物の期末残高	4,017,237	4,397,517

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、一部の金額的重要性の低い取引について、出荷時に収益を認識しておりましたが、顧客による検収完了時に収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定いたしました。当該累積的影響額はないため、当事業年度の期首の利益剰余金には加減せずに、新たな会計方針を適用しております。

この結果、当事業年度において、個別財務諸表に与える損益影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替を行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる個別財務諸表に与える影響はありません。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、スクリーン印刷用のマスク製造及び販売を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,212.52円	1株当たり純資産額	2,297.23円
1株当たり当期純利益金額	30.38円	1株当たり当期純利益金額	79.17円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	111,346	290,165
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	111,346	290,165
期中平均株式数 (株)	3,664,964	3,664,964

(重要な後発事象)

該当事項はありません。